

第4章

麻薬密輸の現状と取組み

これまで麻薬探知犬の活躍ぶりや世界の麻薬探知犬の状況を見てきましたが、麻薬密輸の全体はどうなっているのでしょうか。またこれを防止するために税関はどんな取組みをしているのでしょうか。この章ではこれらについて最近の様子をみてみます。

1 麻薬密輸の現状

麻薬にはいろいろなものがあります。覚醒剤・大麻草・大麻樹脂・ヘロイン・コカイン・MDMA・向精神薬・指定薬物などです。（次の章で説明します）
これらはほとんど外国で作られています。麻薬類は社会に害毒を流すといわれながら、密輸入はなかなか減りません。増加するものもあります。



麻薬の密輸件数・押収量の推移

年 主なもの		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	対前 年比
覚 醒 剤	件	104	151	169	425	72	17%
	kg	1,501	1,159	1,159	2,587	800	31%
大 麻	件	118	171	218	242	203	84%
	kg	9	131	156	82	116	142%
ヘロイン	件	6	6	8	5	2	40%
	kg	0	70	1	17	0	0%
コカイン	件	12	24	58	52	27	52%
	kg	119	10	153	638	818	128%
M D M A	件	27	48	59	67	74	110%
	kg	1	0	5	0	2	432%
	千錠	1	2	32	61	90	148%
ケタミン	件	20	18	17	26	18	69%
	kg	1	0	1	0	0	244%
その他麻薬	件	117	74	83	59	42	71%
	kg	1	1	0	0	0	423%
	千錠	0	0	1	0	0	30%
向 精 神	件	11	17	38	6	2	33%
	kg	-	0	0	-	-	-
	千錠	2	4	26	0	1	460%
指 定 薬	件	477	275	221	165	293	178%
	kg	19	8	17	14	168	12 倍
麻 薬 合	件	892	784	871	1,047	733	70%
	kg	1,650	1,380	1,493	3,339	1,906	57%
	千錠	3	6	58	61	91	149%
使用回数	万回	5,405	4,638	4,427	10,957	5,482	50%

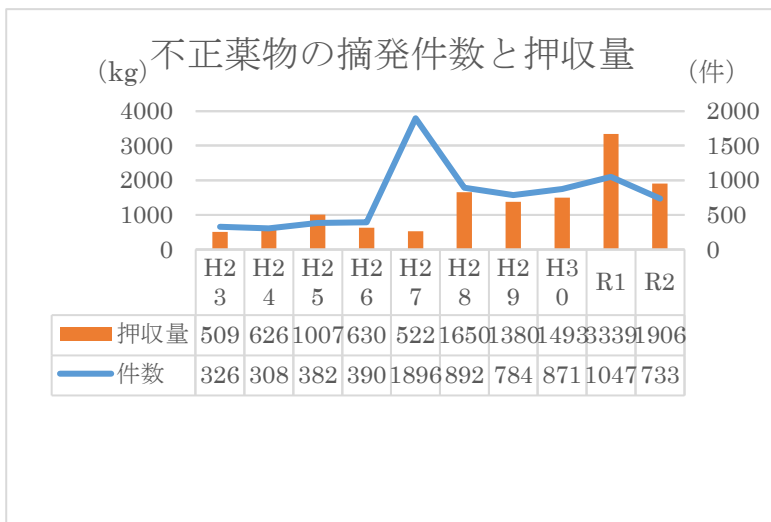
(令和 2 年の全国の税関における関税法違反事件の取締状況資料から)

新4章 麻薬密輸の現状と取組み~~~~~

最近の例を令和2年（2020年）の摘発実績で見ると、摘発件数は733件、重さで約1,906kgとなっています。覚醒剤などの不正薬物は、5年連続で1,000kgを超え、特に令和元年には3,000kgを超えるなど依然として深刻な状況となっています。

なお、不正薬物全体の押収量のうち覚醒剤の押収量が約4割を占めています。

密輸の手口でいえば、携帯品に隠匿しての輸入や、SPとかエクスプレスカーゴと呼ばれる航空小口急送貨物（国際宅配便）並びに海上貨物や、EMSと呼ばれる国際スピード郵便等を利用した密輸入事件の摘発があります。





麻薬の種類別に見てみましょう

かくせいざい 覚醒剤

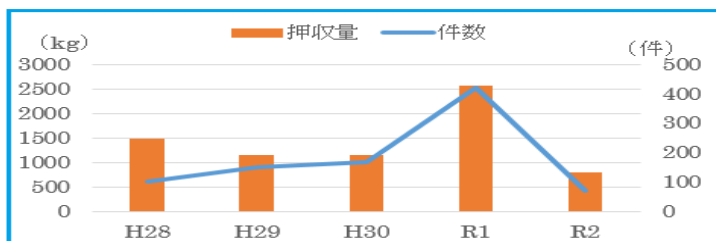
覚せい剤は、依然として多くの押収量があり、密売が続いていることなどから、国内には根強い^{じゅうよう}需要があると認められています（警察庁調べ）。

令和2年（2020年）における密輸入^{てきはつ}摘発実績は、件数が72件、押収量が約800kgとなっており、新型コロナウイルスまん延の影響で、外国からの航空機旅客の入国者が減少したことから前年に比べて減少しました。

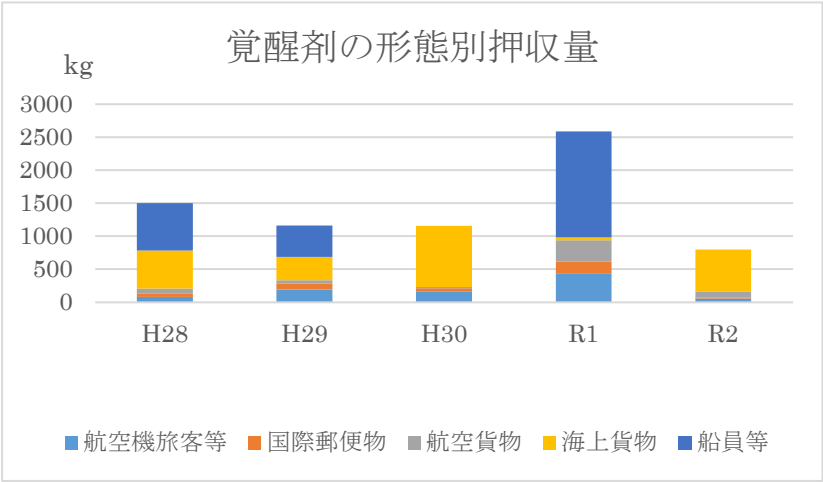
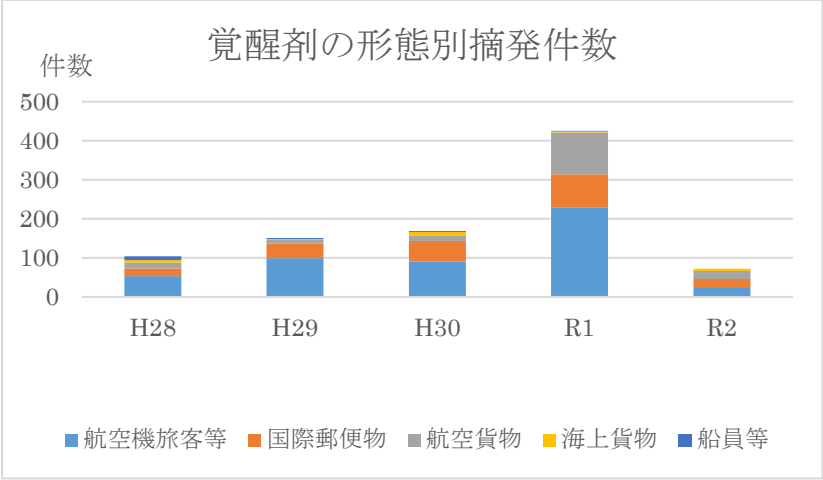
令和2年の主な仕出地域別件数は、ベトナム、タイ、マレーシアなどのアジア地域と北米で過半数を占めています。

密輸入の手口については、海上貨物に隠匿した密輸入事件が増加しています。

かくせいざい 覚醒剤の密輸押収量及び摘発件数の推移



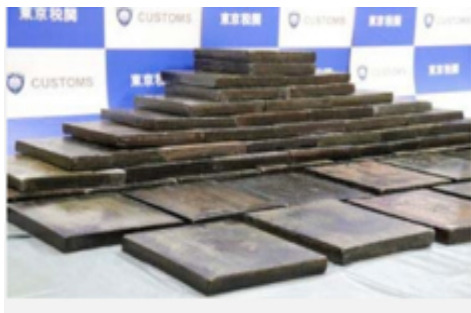
新 4 章 麻薬密輸の現状と取組み~~~~~





【ステーキ用石板に隠された^{かくせいざい}覚醒剤を摘発】

タイから到着した海上貨物（ステーキ用石板）に
隠された^{かくせいざい}覚醒剤約 **113 kg** を摘発しました。
（令和 2 年 3 月・東京税関）



【プラスチック射出機に隠された^{かくせいざい}覚醒剤を摘発】

南アフリカから到着した海上貨物（プラスチック
射出成形機）に隠された^{かくせいざい}覚醒剤約 **237 kg** を摘発しま
した。
（令和 2 年 10 月・横浜税関）



新4章 麻薬密輸の現状と取組み~~~~~

【航空機旅客のスーツケースに隠された^{かくせいざい}覚醒剤を摘発】

メキシコから成田空港に到着した旅客4名のスーツケースに隠された^{かくせいざい}覚醒剤計約22kgを摘発しました。

(令和2年9月・横浜税関)



【ボードゲームに隠された^{かくせいざい}覚醒剤を摘発】

カナダから到着した航空貨物（ボードゲーム）に隠された^{かくせいざい}覚醒剤約 3.5 kgを摘発しました。

(令和2年6月・名古屋税関等)





たい 麻 大

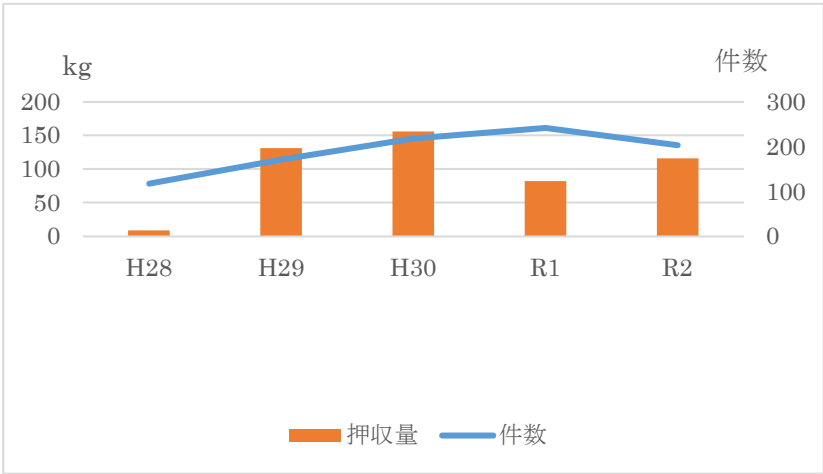
大麻（大麻草・大麻樹脂等）は、世界で最も乱用されている麻薬といわれております。

令和 2 年（2020 年）における密輸入^{てきはつ}摘発実績は、件数が 203 件、押収量が約 116kg となっており、令和元年との比較では、大麻草の摘発件数・押収量は減少したものの、大麻樹脂等の押収量は約 68kg（約 3.2 倍）と増加しております。

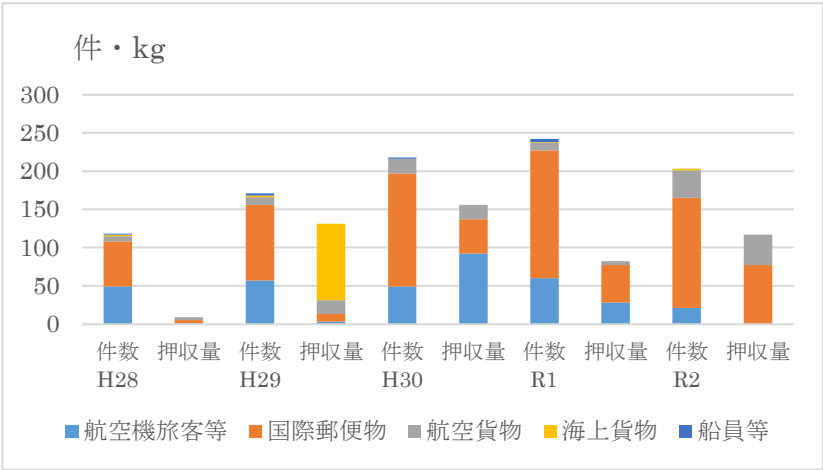
大麻草及び大麻樹脂等の主な密輸入ルートは、米国及びカナダからの摘発が多く、摘発件数では米国（67％）とカナダ（9％）であり、北米で約 8 割を占めています。

密輸入形態別（件数）では、国際郵便を利用した密輸の摘発が多く、次いで商業貨物を利用した密輸等が多くなっています。また、押収量では、国際郵便物などを利用した密輸入により、約 77 k g の大麻が摘発されております。

大麻の摘発件数と密輸押収量の推移



大麻草・大麻樹脂密輸形態別摘発実績





【ワインボトルに隠された大麻リキッドを摘発】

米国から到着した航空貨物（ワインボトルに隠された大麻リキッド約 9 kg）を摘発しました。

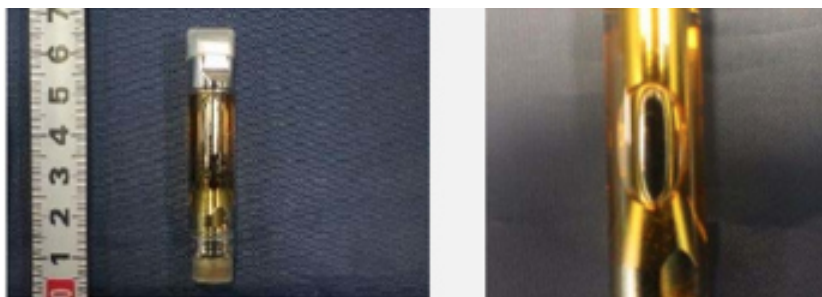
（令和 2 年 2 月・東京税関）



【国際郵便に隠された大麻リキッドを摘発】

米国から到着した国際郵便に隠された大麻リキッド約 5 gを摘発しました。

（令和 2 年 9 月・大阪税関等）



【携帯品内に隠して密輸入しようとした大麻草を摘発】

米国から到着した旅客の携行ボストンバック内に
収納されていたスニーカーから大麻草約 2gを摘発
しました。

(令和2年10月・東京税関)



【国際郵便を利用して密輸入した大麻草を摘発】

オランダ王国から国際郵便に隠された大麻草
2,021.8gを摘発しました。

(令和2年11月・大阪税関)





MDMA

MDMA(通称「エクスタシー」)は、覚せい剤と同様の作用を持つ錠剤型合成麻薬です。平成 28 年から令和 2 年にかけての密輸入は徐々に増加傾向にあります。

令和 2 年(2020 年)における密輸入摘発実績は、件数が 74 件、押収量が約 2kg 及び約 9 万錠となっております。



第4章 麻薬密輸の現状と取組み~~~~~

【スーツケースに隠して密輸入したMDMAを摘発】

オランダから福岡空港に到着した旅客のスーツケースに隠されたMDMA約1万錠を摘発しました。
(令和2年2月・門司税関)



【航空貨物に隠して密輸入したMDMAを摘発】

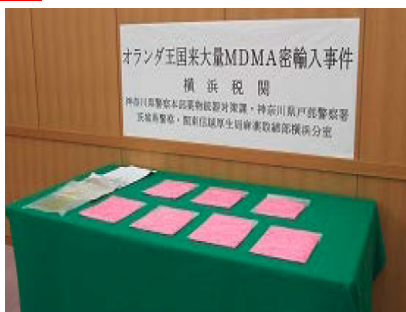
ドイツからの航空貨物で、フットマッサージ機内と外装段ボール箱の側面に隠して密輸入しようとしたMDMA約1万2千錠を摘発しました。
(令和2年6月・東京税関)





【国際郵便物に隠されたMDMAを摘発】

オランダから到着した国際郵便物 2 個を輸入検査したところ、郵便物内に隠されていたMDMA 約 9 千錠を摘発しました。（令和 2 年 1 月・横浜税関）



【乾燥食品に隠されたMDMAを摘発】

ベトナムから到着した郵便物の検査をしたところ、乾燥食品内に隠していたMDMA 約 2 千錠を摘発しました。（令和 2 年 10 月・東京税関外郵出張所）



第4章 麻薬密輸の現状と取組み~~~~~

【段ボール箱の側面に隠して密輸入しようとした MDMAを摘発】

ベルギーから到着した国際宅配貨物を検査したところ、貨物の入っていた段ボール箱の側面等に隠されたMDMA約7,125錠^{てきはつ}を摘発しました。

(令和2年8月・関西空港税関支署)





コカイン

コカインは、南アメリカが最大の生産地域です。原料となるコカ葉のほとんどがコロンビア・ペルー・ボリビアの3カ国で不正に栽培されています。主にアメリカやヨーロッパにおいて消費されています。

令和2年(2020年)における密輸入摘発実績は、件数が27件、押収量が約818kgとなっており、平成30年(2018年)の押収量約153kgと比較しますと約5.3倍に増加しています。

【海上貨物に隠して密輸入したコカインを摘発】

エクアドルから到着した海上貨物に隠されたコカイン約722kgを摘発しました。(1回の押収量として過去最高量)
(令和2年4月・横浜税関)



指定薬物(危険ドラッグ)

指定薬物とは、「医薬品，医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（H26.11.25 施行、旧薬事法）において、医療などの用途以外に供する目的で輸入等が、禁止されている物品 2,394 物質（令和3年6月17日現在）のことで、これらを含む物品を危険ドラッグ（注）といいます。

注 危険ドラッグとは、規制薬物又は指定薬物に化学構造を似せて作られ、これと同様の薬理作用を有する物品をいい、規制薬物及び指定薬物を含むしない物品であること標榜しながら規制薬物又は指定薬物を含む物品を含む。

（平成26年7月4日厚生労働省報道発表）

参考：危険ドラッグ

平成26年7月22日政府が新呼称を発表し改名

（以前は脱法ドラッグ、脱法ハーブ等と呼称）

指定薬物の輸入形態

○輸入形態は、国際郵便物及び航空小口急送貨物（国際宅配便）



関税法の改正（平成 27 年法律第 10 号）

危険ドラッグの水際対策として、指定薬物を関税法上の「輸入してはならない貨物」に追加するため、関税法改正を実施しました。

その結果、平成 27 年 4 月 1 日より、指定薬物も覚せい剤、大麻等と同じく輸入が禁止となりました。

指定薬物の令和 2 年（2020 年）における密輸入てきはつ摘発実績は、件数が 293 件、押収量が約 168kg となっており、前年に比べてどちらも増加しました。

特に、押収量は前年約 14 kg と比べると約 12 倍となりました。

【国際郵便に隠して密輸入しようとした指定薬物を摘発】

台湾から到着した国際郵便に隠された指定薬物である亜硝酸イソブチル計 41 本（約 300 g）を摘発しました。（令和 2 年 8 月等・名古屋税関等）



【国際郵便に隠して密輸入しようとした指定薬物を摘発】

中華人民共和国から到着した国際郵便に隠された指定薬物である亜硝酸イソブチルを含有する液体（約 41.91 g）を摘発しました。
（令和 2 年 7 月・門司税関）

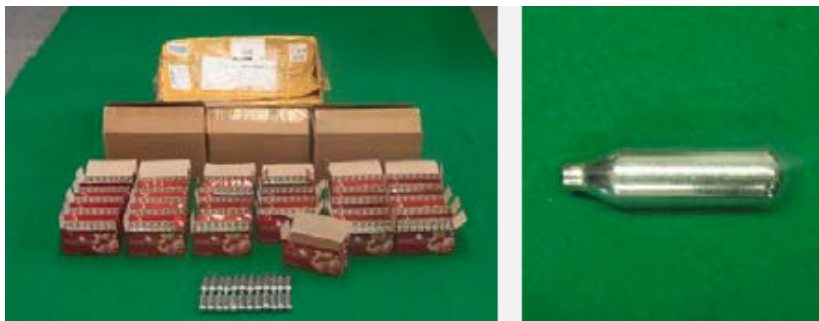


~~~~~  
【国際郵便で密輸入しようとした指定薬物を摘発】



中国から到着した国際郵便物に隠された指定薬物である一酸化二窒素を含有するガス（シバガス）計 2 万 3 千本（約 156kg）を摘発しました。

（令和 2 年 1 月 等・横浜税関）



【国際郵便に隠して密輸入しようとした指定薬物等を摘発】

オランダ王国から到着した国際郵便物から指定薬物である 3-MMC 約 10 gを摘発しました。

（令和 2 年 5 月・横浜税関）



## 第4章 麻薬密輸の現状と取り組み~~~~~

### ハンドラーインタビュー

吉見 剛

問：麻薬探知犬ゼノ号とペアを組んでどのくらいになりますか。また、ゼノ号の性格、特徴について。

答：人事異動で、4年振りに麻薬探知犬管理室に配属され、前任のハンドラーが人事異動したため、ゼノ号とペアを組むこととなり、約9か月が経ちました。



ゼノ号は集中すれば抜群の能力を発揮しますが、やや気まぐれなところがあります。検査でその能力を十分に引き出せるよう、日々の訓練でいろいろなことを試しています。

問：麻薬探知犬の業務を担当することになったきっかけは。

答：税関に採用されて4年目に麻薬探知犬管理室に配属されたことがきっかけで、ハンドラーとして今年で通算5年になります。実は小さい頃から犬が怖くて、配属当初は犬に触ることすらできませんでした。犬舎に入るのも怖かったくらいです。でも、案外慣れるもので、今では怖かったはずの犬に毎日癒されています。

問：犬に触れることも出来なかった吉見さんが麻薬探知犬のハンドラーとして頑張っていらっしゃるきっかけは。



~~~~~

答：初めは何も分からなかった自分が、^{しこうさくご}試行錯誤しながら懸命に担当犬に接していく中でハンドラーとしての自信もつき、犬の状態や体調の変化を感じ取れるようになって、次第に^{い し そつう}麻薬探知犬と意思疎通が出来るようになり、怖いという気持ちも薄らいできました。

問：麻薬探知犬のハンドラー業務で楽しかったこと、大変だったことを教えてください。

答：大変なことは、検査でゼノ号の能力を引き出せるよう日々訓練を重ねても、それがなかなかうまくいわずに結構悩んだりするときもありますが、うまくいったときの^{たっせいかん}達成感は大変だった分だけ一層大きく感じられます。

一方、嬉しいことは、税関の広報活動などで麻薬探知犬による検査のデモンストレーションを^{ひろう}披露する際、ゼノ号が麻薬の臭いを見つけて座ったときに、観客席から「すごーい」など驚きの声が上がると嬉しくなります。ハンドラーである私も、その能力を初めて目の当たりにする人たちからの驚きの声を聞くたび、麻薬探知犬のすごさを再認識させられます。

2 麻薬密輸への取組み

国内的な取組み

外国から日本へ輸入される貨物は、年々増加しています。密輸入の手口はうまくなり、さらに密輸のルートもさまざまになってきています。政府の取組み

としては、内閣に「^{ないかく}犯罪^{はんざいたいさくかくりようかいぎ}対策閣僚会議」や「^{やくぶつらんよう}薬物乱用

^{たいさくすいしんほんぶ}対策推進本部」を設置し、対策を講じてきています。

具体的には、2003年7月、「^{やくぶつらんようぼうし}薬物乱用防止新5カ
年戦略」を決定しました。その理由は、それまでの
5年間でその前の5年間の3倍以上の覚せい剤を押
収していますが、^{かくせいざい}覚醒剤に関連した事件で引き続き
多数の^{けんきよしゃ}検挙者が出ており、依然として多くの^{いぜん}覚せい
剤が密輸入されているとみられたからです。



そして、麻薬類は、日本に入る水際（空港や海港など）で食い止めることが効果的であると考え、関係の役所が一体となって水際対策を重点的に行うための「薬物密輸入阻止のための緊急水際対策」を決定し、いろいろな対策を進めています。

水際を担当する財務省関税局や税関においては麻薬などの密輸入の多いことやその手口の巧妙化に対応するため、次のような対策を取っています。

①全国の主な税関の官署に検査の専門の部門を作り取締体制を整備したり、②関係する業界との間で「密輸防止のための覚書」を交わすことにより協力を約束し、情報収集やその分析を強めたり、③取締りのための機械や装備の強化に努めています。

これまでの主な取締り機器の強化

取締りのための機械や装備の強化について紹介しましょう。

● 監視カメラシステムの導入

1996年3月、夜間でも監視可能な高感度監視カメラシステムを全国の主な港などに設置して、船

舶の取締りを強化しています。

● 麻薬探知犬の積極的活用

人間の数万倍の嗅覚^{きゅうかく}を持ち、麻薬類の取締りに非常に効果的な麻薬探知犬については、1979年に導入して以来、年々、
配備頭数^{はいびとうすう}を増やすとともに、配備箇所^{はいびかしよ}を多くしました。
1993年には、入国旅客^{しんべん}の身边等に隠された麻薬類に対し、座って知らせる麻薬探知犬（パッシブドッグ）を導入して積極的に活用しています。



（導入されて 40 年になる）

● X線検査装置^{せんけんさそうち}の積極的活用

全国の税関に固定式^{こていしき}や移動式^{いどうしき}のX線検査装置を配備しました。貨物に巧妙^{こうみょう}に隠された麻薬やけん銃^{しゃかいあくぶっぴん}のような社会悪物品の発見・摘発に大きな威力^{いりよく}



を発揮しています。

また、2001年3月には、横浜税関にコンテナ全体をトラックに積んだまま一度に検査することができる大型X線検査装置^{せんけんさそうち}を初めて導入し、現在では全国の大きな港に配備しています。



トラックに積んだまま一度に検査することができる
大型X線検査装置

とりしまきかん れんけいきょうか 取締機関との連携強化

以上のほか、関係する取締機関とりしまりと積極的に協力し合っています。

水際における効果的な取締りを実施するため、税関や警察・海上保安庁かいじょうほあんちょうなどの取締機関が持っている情報・組織・権限そしき けんげん及び経験等いを活かしながら、強く連携して取締りに当たっています。

具体的には、警察や海上保安庁などの関係取締機関との間で、全国各地で合同訓練や合同取締りを積極的に実施しています。



かいじょうほあんちょう
税関・警察・海上保安庁との合同取締り訓練



こくさいてき 国際的な取組み

国際的な取組みも積極的に行われています。

せかいぜいかんきこう
世界税関機構（WCO）※¹では、麻薬の密輸についてそくしんの情報交換の促進やじょうほうぶんせきのうりよく情報分析能力の強化の取組みがなされています。

税関では特にその地域プロジェクト（RILOプロジェクト）※²に積極的に参加し、麻薬の密輸動向みつゆうどうこうを分析したり、外国の税関との情報交換を積極的に進めています。

アメリカやオーストラリアとの間で、国と国との円滑な情報交換などを進めるため、税関当局間の情報交換きそくの規則などを定めた国際約束こくさいやくそくを結んできています。また最近では、韓国、中国、オランダ、ロシアとの間で税関相互支援協定そうごしえんきようていをそれぞれ締結ていけつしてきました。現在はイタリアとの締結に向けて準備をめているところです。

※¹ 税関の仕事を正しく円滑えんかつに行うことを目的とする 168 カ国が参加する国際機関。(World Customs Organization)

※² 各国の税関の間で麻薬などの密輸についての情報交換や密輸情報の分析を強めることを目的とした世界税関機構の地域情報連絡事務所（アジア・大洋州 RILO : Regional Intelligence Liaison Office）。

新4章 麻薬密輸の現状と取組み ～～～～～～～～～

さらに、海外における麻薬などの密輸情報の収集に努めるとともに、外国税関との相互協力関係を強めるため、たびたび税関職員を海外派遣しています。



いろいろな国際会議にも積極的に参加し、麻薬などの取締りの情報交換や意見交換をしています。



監視取締り分野での技術協力

財務省・税関では、世界税関機構などと協力して、研修の受入れや専門家を派遣したり、地域セミナーなどの技術協力を行っています。主にアジア・大洋州地域の開発途上国の税関業務のレベルアップを目的としています。麻薬探知犬育成訓練もその一部です。

2004 年度には、主としてアジア・大洋州地域の開発途上国の税関職員を日本に受け入れました。それは麻薬などの密輸取締りに役立てるためです。また、アジア地域を中心とした開発途上国に専門家を派遣して、麻薬などの取締り方法等に関する講義を行っています。



けんしゅうげんば
(研修現場)

ハンドラーインタビュー

川上 友利香

問：麻薬探知犬インディー号とペアを組んでからどのくらいの期間になりますか。また、麻薬探知犬インディー号は、どのような性格、特徴ですか。

答：インディー号は育成訓練の時から私が担当し、4ヶ月の訓練を経て麻薬探知犬に合格しました。ペアを組んでからちょうど1年になります。



インディー号は普段は大人しく、甘えん坊な性格です。しかし検査になるとスイッチが切り替わり、犬自ら積極的に麻薬類の匂いを探しに行く好奇心旺盛な性格です。

問：麻薬探知犬の業務を担当することになったきっかけは。

答：税関に採用される前からずっと麻薬探知犬の業務を希望しており、入関して2年目の人事異動で希望が叶いました。学生時代に海外旅行から帰国した際、空港で見た麻薬探知犬のハンドラーに憧れ、将来の目標になりました。そのため大学は犬の専門的な勉強が出来る学部に進学し、犬の生態や訓練技術を学びました。麻薬探知犬のハンドラーになった現在大学での知識や経験がとても役立っています。



問：麻薬探知犬のハンドラー業務で楽しかったこと、大変だったことは。

答：担当犬を麻薬探知犬として成長させる事が楽しいことであり、また大変なこともあります。インディー号は育成訓練時代とても^{おくびょう}臆病な性格で、旅具検査対応犬の候補犬にも関わらず正面から人が歩いてくると腰が引けて逃げてしまうような犬でした。訓練方法に変化を加えてうまくいかなかったときは、もう不合格になってしまうのではないかと考えたこともありました。



このような状況であっても、インディー号との親和関係を着実に築いてゆき、「この人（ハンドラー）と一緒にいれば大丈夫！探したら楽しいことがある！」という意識を芽生えさせることに成功し、今ではどんなところでも問題なく対応できるように成長しました。この意識を継続させるため、今でもインディー号と一緒に検査をする際は、ワクワク感のある検査をすることを意識して、インディー号と共に業務を行っております。